

認知度アンケート調査について

認知度アンケート（サマリ）

南大沢地域住民にアンケートを実施し、スマートシティの認知度、住民生活における満足度、普段の移動手段、アプリ・SNSの使い方を調査しました

実施概要

調査目的	<ul style="list-style-type: none">時系列調査を通して、南大沢スマートシティの認知度および地域満足度に対する変容の把握アプリ構築に向けた南大沢住民のニーズ把握
モニター対象者	<ul style="list-style-type: none">南大沢駅周辺エリア居住者（15歳以上の男女）性別毎の回収件数<ul style="list-style-type: none">▶ 男性137件、女性63件年代毎の回収件数※1<ul style="list-style-type: none">▶ 若年層18件、中年層87件、高齢層94件ペルソナ毎の回収件数※2<ul style="list-style-type: none">▶ 学生層2件、ファミリー層41件、シニア層36件
実施期間	2025/12/26（金）～2026/1/5（月）
回収件数	200件
主なアンケート項目	<ul style="list-style-type: none">南大沢スマートシティの認知度・イメージ住民生活における満足度普段の移動手段アプリ・SNSの使い方

実施結果（抜粋）

調査項目① 認知度・イメージについて

- 全体の認知度は20.5%で、**R6から2.5%上昇**した
- 男性の認知度**はR6から3.6%上昇し、30～40代の**中年層**で認知度が上昇した
- 「**便利なサービスを受けられる**」というイメージが最多で、R6から大きな変化はなかった

調査項目② 取組テーマに関する課題感について※3

- 「**移動**」に関する満足度は**R6から横ばい**であり、**上柚木エリア・由木エリア**では満足度が上昇傾向にあった
- 「**情報**」に関する満足度はモニター全体で**R6から横ばい**であった一方、**シニア層**では満足度が**低下傾向**にあった

調査項目③ 普段の移動手段について

- モニター全体の約2割が南大沢駅周辺の移動に不便さを感じるという回答し、土地の「**高低差**」に不便さを感じる声が多かった
- 利用してみたいモビリティサービスに関して、「**電動自転車**」「**自動運転バス**」を利用してみたいという意見が多い傾向にあった

調査項目④ アプリ・SNSの使い方について

- 情報検索に苦勞する地域情報としては「**医療**」が最多で、年代によって傾向に違いが見られた
- 全体の**約6割**が**閲覧目的**で利用しており、約1割が**投稿機能を活用**していることが分かった

※1 各層の定義 若年層：年齢が15～39歳 中年層：年齢が40～59歳 高齢層：年齢が60歳以上 R6新規設問では当該分類を用いる

※2 各層の定義 学生層：職業「学生」の方 ファミリー層：年齢が59歳以下かつ子どもと同居している方 シニア層：年齢が60歳以上かつ職業「無職」の方 左記以外は、その他の層として扱う R5継続設問では当該分類を用いる

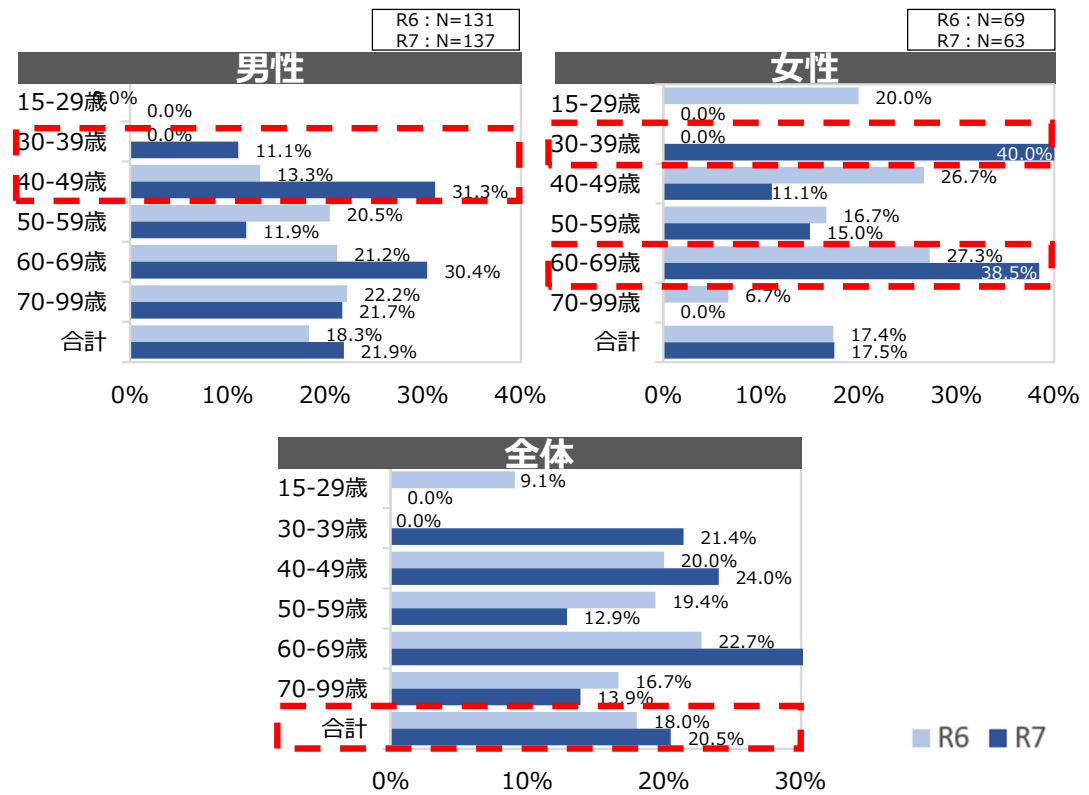
※3 R5ペルソナ分析時に新たなプロジェクト抽出の視点として設定したテーマ

南大沢スマートシティ認知度はR6から微増で、男性の認知度は大きく向上しました。また、R6に引き続き、南大沢エリアにおける認知度が最も高い結果となりました

南大沢スマートシティ認知度（全体）

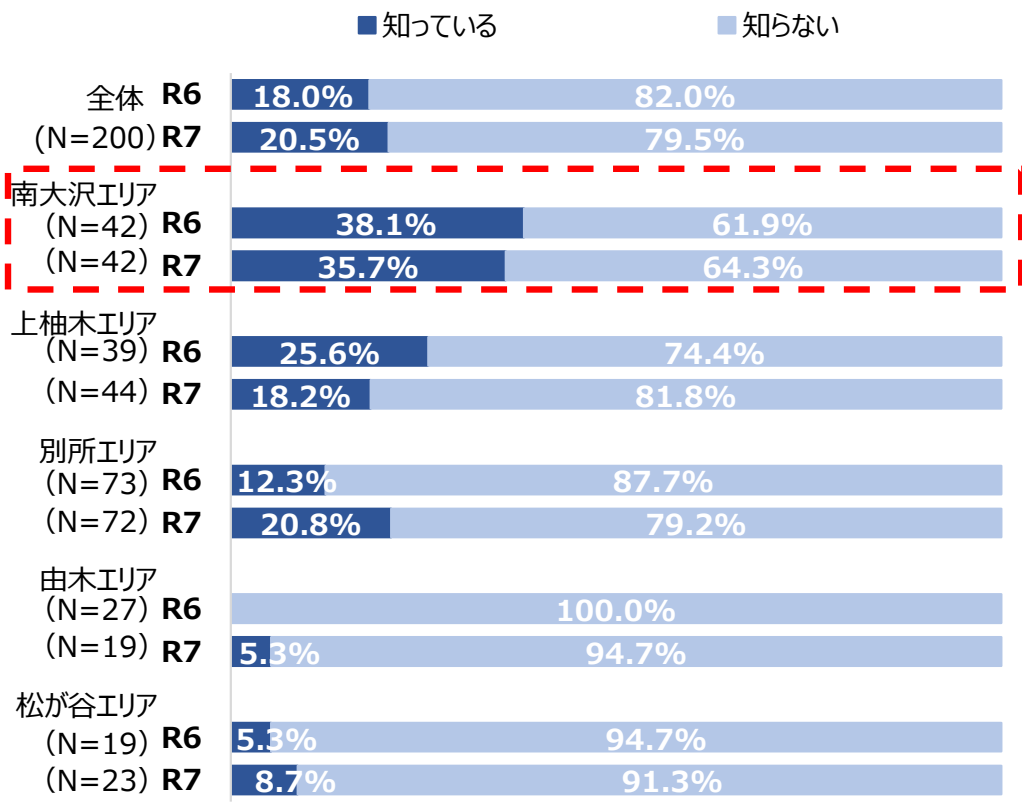
- 全体の認知度は20.5%で、**R6から2.5%上昇した**
- 男性の認知度はR6から3.6%上昇し、とりわけ**30～40代の中年層で認知度が向上した**
- 女性全体の認知度はR6と横ばいであるものの、**30代および60代における認知度が大きく向上した**

「南大沢でSCの取組が行われている」と知っている人の割合



南大沢スマートシティ認知度（エリア別※、R6・R7比較）

- R6から2.4%低下したものの、**南大沢エリア**における認知度が最も高かった
- 別所エリアでは8.5%、由木エリアでは5.3%、松が谷エリアでは3.4%認知度が上昇し、**R6よりも広範囲の地域でスマートシティの取組が認知され始めている**



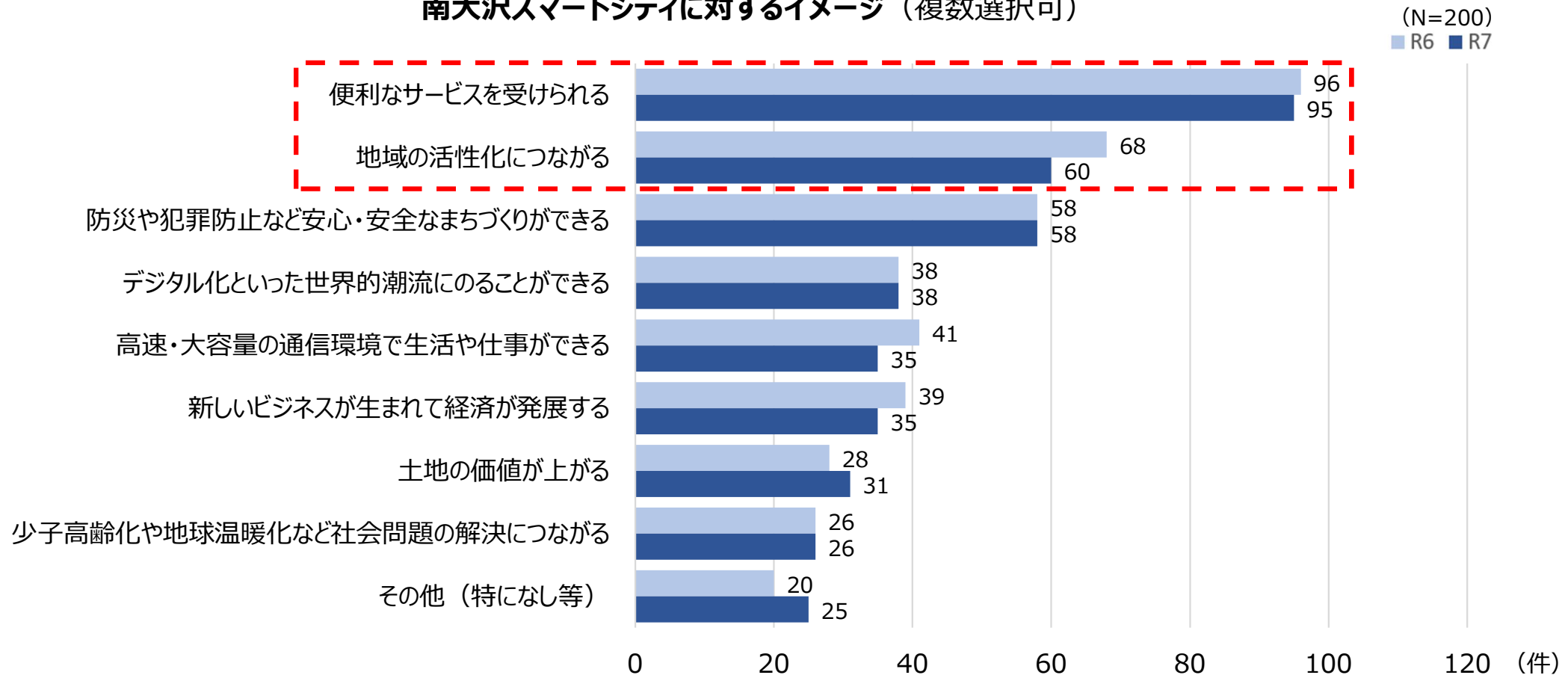
※ 居住エリアの分類 南大沢エリア：南大沢 上柚木エリア：鎌水、上柚木、中山、下柚木 別所エリア：別所、松木、堀之内 由木エリア：越野、南陽台、東中野 松が谷エリア：鹿島、松が谷、大塚
南大沢駅から各エリア中心地点までの距離が短い順に整理

南大沢スマートシティへのイメージはR6から大きな変化は見られず、「便利なサービスを受けられる」利便性に富んだまちであるというイメージが強いことが分かりました

南大沢スマートシティに対するイメージ

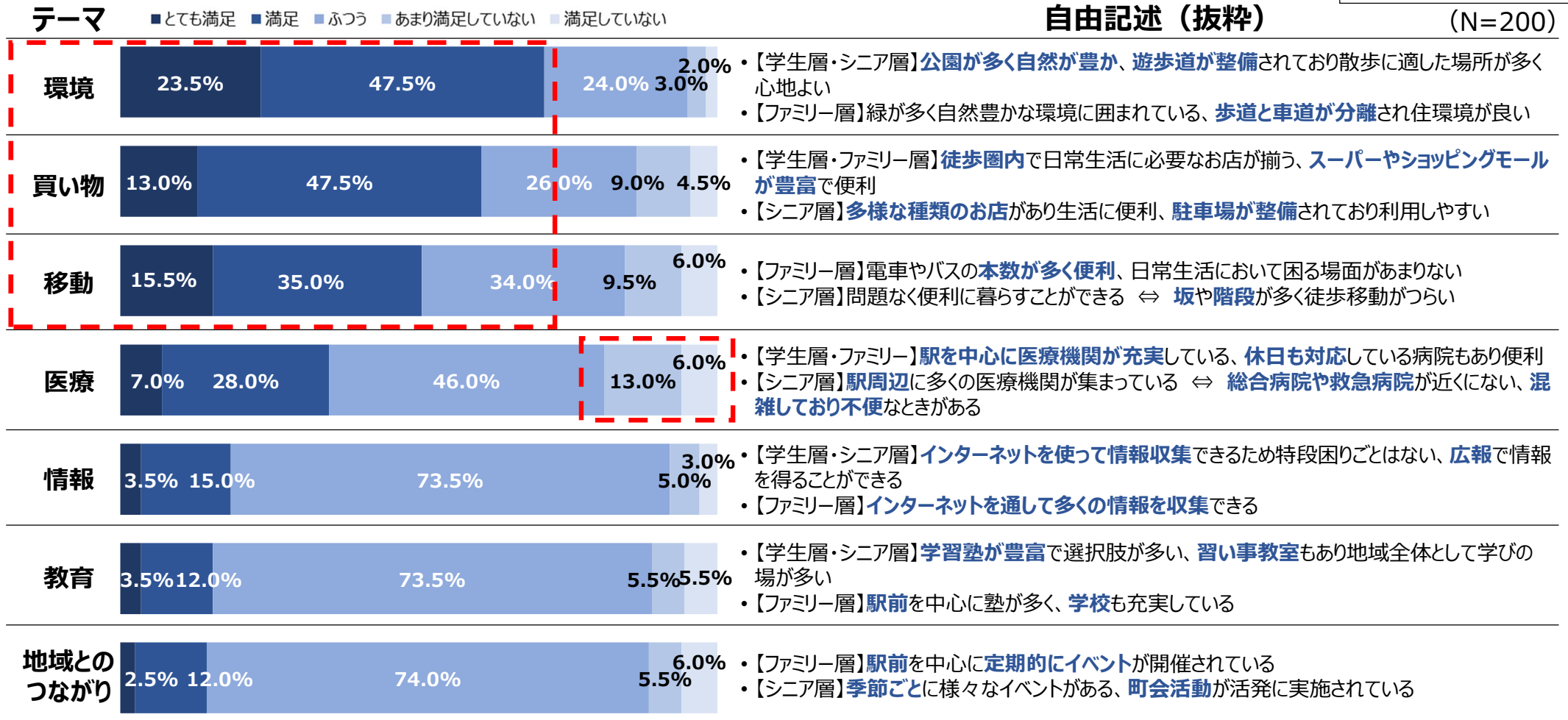
- R6同様、「**便利なサービスを受けられる**」というイメージが最多となり、次いで「**地域の活性化につながる**」という回答が多かった
- 「防災や犯罪防止など安心・安全なまちづくりができる」「デジタル化といった世界的潮流にのることができる」等、「**日常生活における安全性**」や**先進的なまち**であるというイメージを持っている傾向がある

南大沢スマートシティに対するイメージ（複数選択可）



取組テーマ別ではR6同様、「環境」「買い物」「移動」の満足度が高い傾向が見られました。一方で、「医療」は他テーマと比較して不満足の高割合が高いことが特徴でした

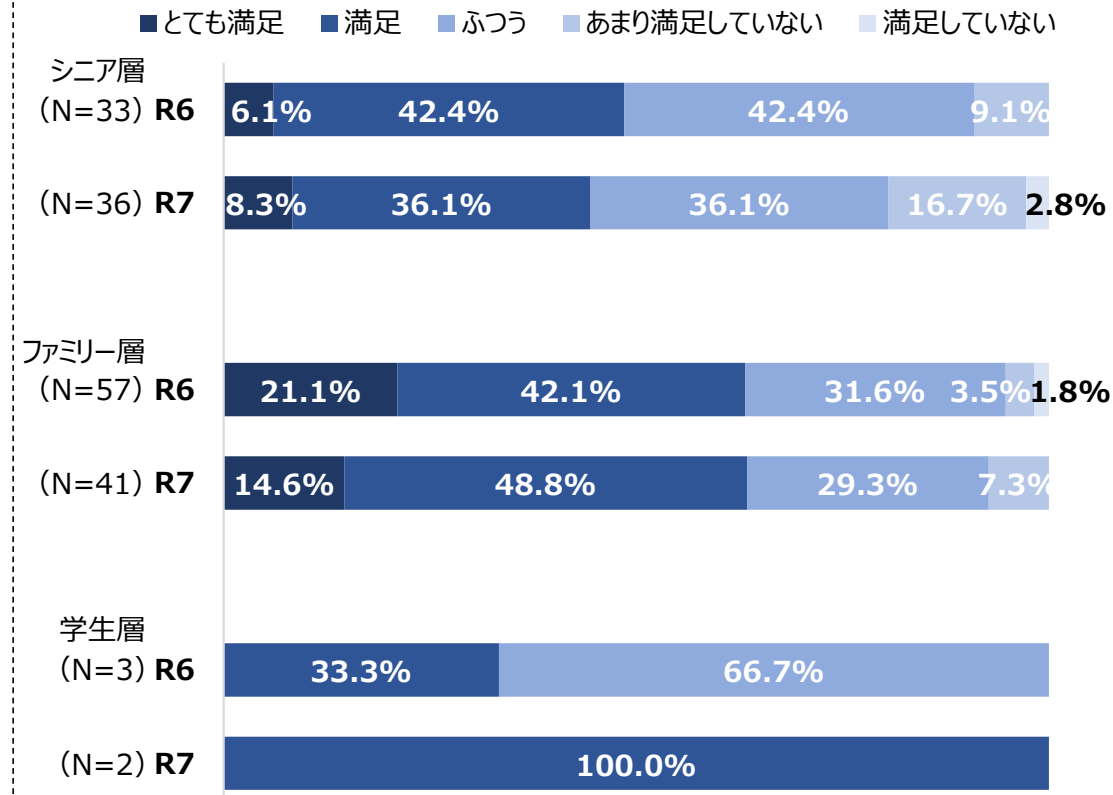
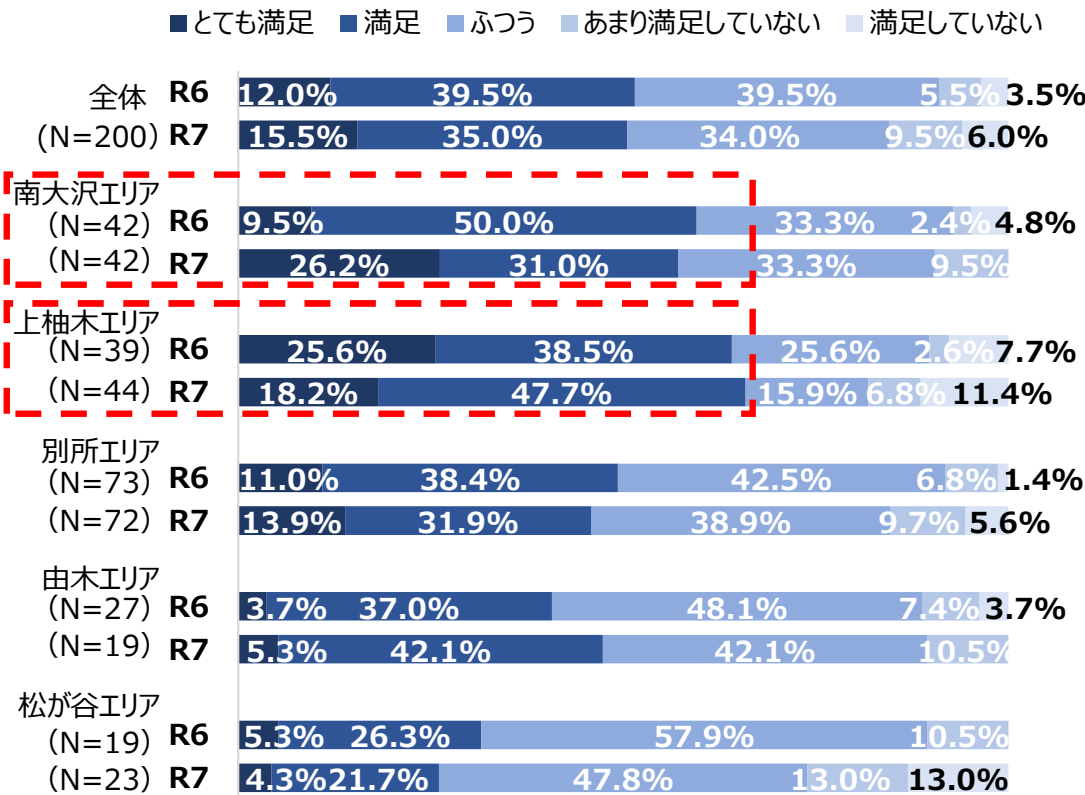
■ペルソナ内訳
 学生層 : N=2
 ファミリー層 : N=41
 シニア層 : N=36



南大沢・上柚木エリアの「移動」に対する満足度が高い傾向が見られました。年代別では、R6と比較して学生層では満足度向上、シニア層、ファミリー層では横ばいでした

移動に関する満足度（エリア別※1、R6・R7比較）

移動に関する満足度（ペルソナ別※2、R6・R7比較）



□ 上柚木エリアおよび由木エリアでは、「とても満足」または「満足」と回答した方の割合が増加しており、日常生活の移動における満足度が上昇傾向にある

□ 「とても満足」または「満足」と回答した方の割合は、シニア層で4.1%減少した一方、ファミリー層は横ばい、学生層では大きく増加した

<R7回答者のコメント抜粋>

- 【上柚木エリア】駅まで徒歩圏内で便利、バスも多く公共交通に不便がない
- 【松が谷エリア】バスが年々減便している、バスの最終時刻が早い

<R7回答者のコメント抜粋>

- 【シニア層】車がないと不便、坂が多く徒歩移動が辛い
- 【ファミリー層】車移動で不便を感じない、公共交通手段が豊富

※1 居住エリアの分類 南大沢エリア：南大沢 上柚木エリア：鎌水、上柚木、中山、下柚木 別所エリア：別所、松木、堀之内 由木エリア：越野、南陽台、東中野 松が谷エリア：鹿島、松が谷、大塚 南大沢駅から各エリア中心地点までの距離が短い順に整理

※2 各層の定義 シニア層：年齢が60歳以上かつ職業「無職」の方 ファミリー層：年齢が59歳以下かつ子どもと同居している方 学生層：職業「学生」の方 左記以外は、その他の層として扱う ※0%は表記を省略

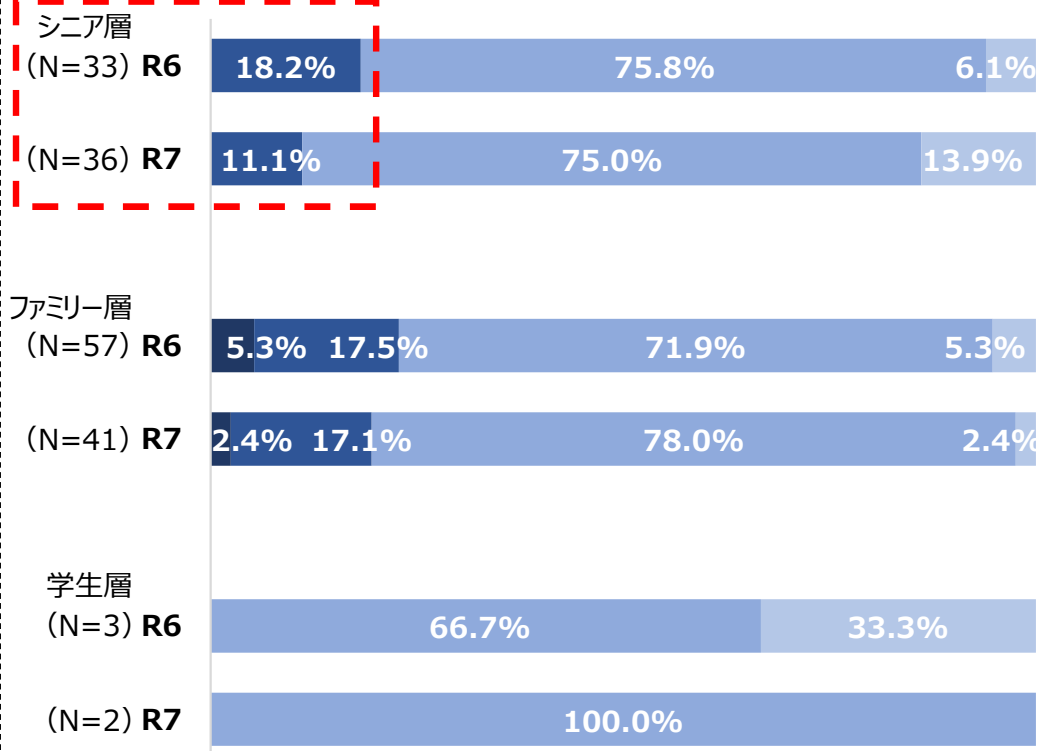
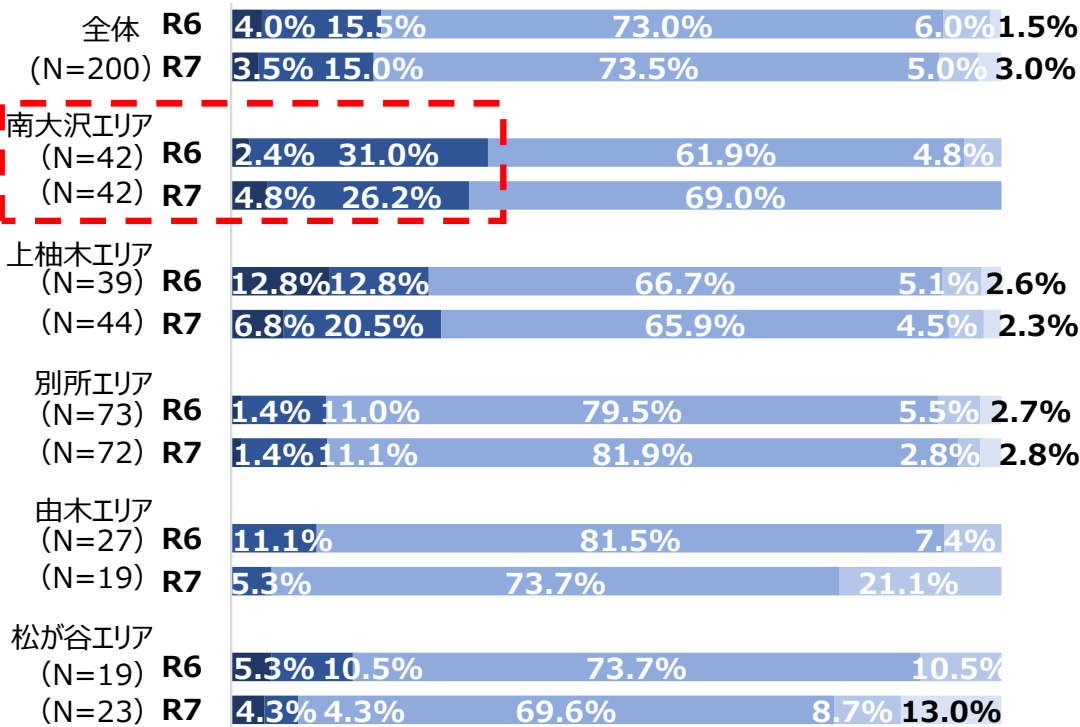
「情報」の満足度は南大沢エリアが特に高いことが分かりました。ペルソナ別ではシニア層の満足度がやや低下し、高齢でも情報を利用しやすい施策が求められていると示唆されます

情報に関する満足度（エリア別※1、R6・R7比較）

情報に関する満足度（ペルソナ別※2、R6・R7比較）

■とても満足 ■満足 ■ふつう ■あまり満足していない ■満足していない

■とても満足 ■満足 ■ふつう ■あまり満足していない ■満足していない



□ 南大沢エリアは他エリアと比較して満足度が高い傾向がある

<R7回答者のコメント抜粋>

- ・【南大沢エリア】インターネット環境も良く、特段困りごとはない
- ・【由木エリア】特に情報収集等はしていない

□ シニア層では「満足」と回答した方がR6から7.1%減少、「あまり満足していない」と回答した方が7.8%増加しており、シニア層全体で情報に対する満足度が低下している

<R7回答者のコメント抜粋>

- ・【シニア層】情報そのものが少ない、調べものをするのが少ない
- ・【ファミリー層】インターネットで情報検索ができ不便を感じない

※1 居住エリアの分類 南大沢エリア：南大沢 上柚木エリア：鎌水、上柚木、中山、下柚木 別所エリア：別所、松木、堀之内 由木エリア：越野、南陽台、東中野 松が谷エリア：鹿島、松が谷、大塚
南大沢駅から各エリア中心地点までの距離が短い順に整理

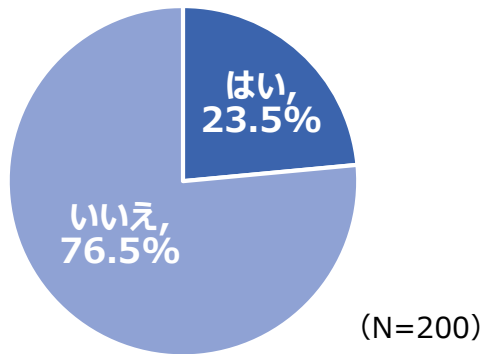
※2 各層の定義 シニア層：年齢が60歳以上かつ職業「無職」の方 ファミリー層：年齢が59歳以下かつ子どもと同居している方 学生層：職業「学生」の方 左記以外は、その他の層として扱う ※0%は表記を省略

モニター全体の約8割が日常生活の移動に不便を感じない一方で、高低差や公共交通機関の便数、駅までの距離に不便さを感じる意見が見受けられました

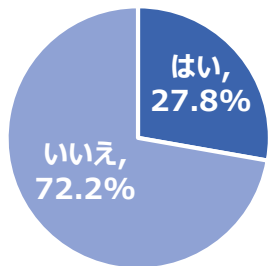
普段の移動手段

- 全体の約2割が南大沢駅周辺の移動に不便さを感じており、若年層・高齢層でその割合が高い傾向にあった
- 「高低差」に不便さを感じる声が多く、高齢層では公共交通機関の「便数」に課題を持つ傾向にあった

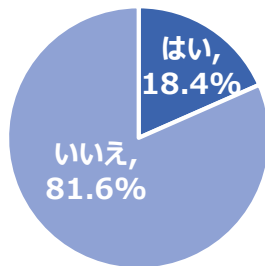
南大沢駅周辺の移動に不便と感じる人の割合



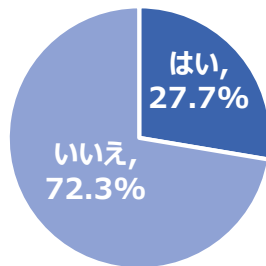
若年層 (N=18)



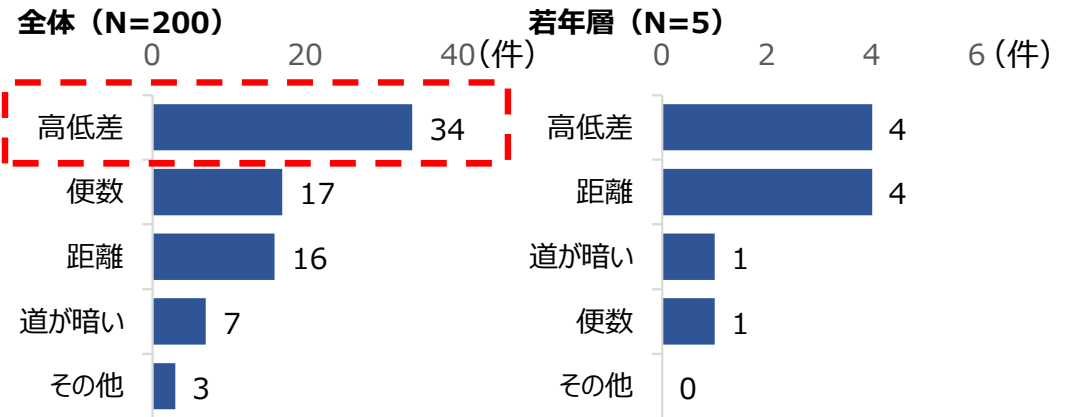
中年層 (N=87)



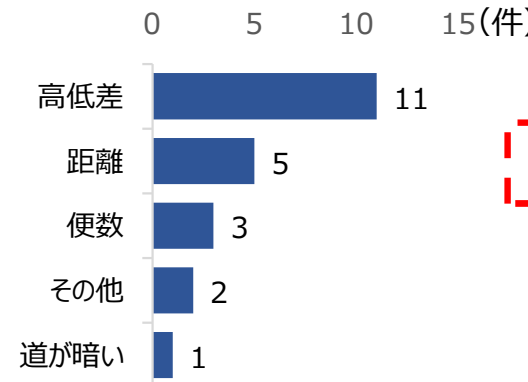
高齢層 (N=94)



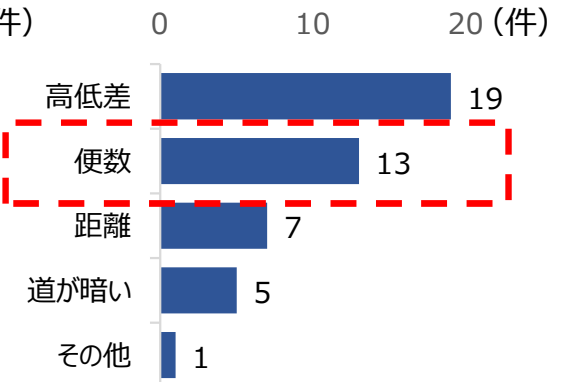
移動が不便と感じる理由



中年層 (N=16)



高齢層 (N=26)



※各層の定義 若年層：年齢が15～39歳 中年層：年齢が40～59歳 高齢層：年齢が60歳以上

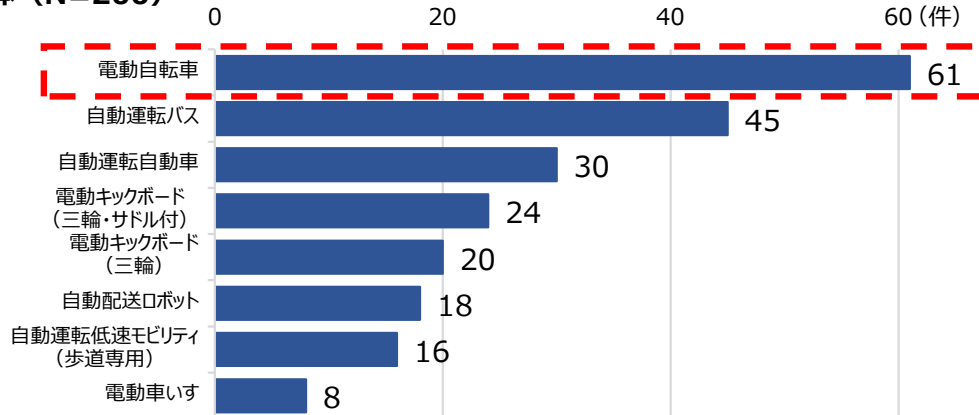
「電動自転車」の利用ニーズが年代問わず高い傾向が見られ、「自動運転バス」や「自動運転自動車」等のモビリティサービスも関心を集めました

普段の移動手段

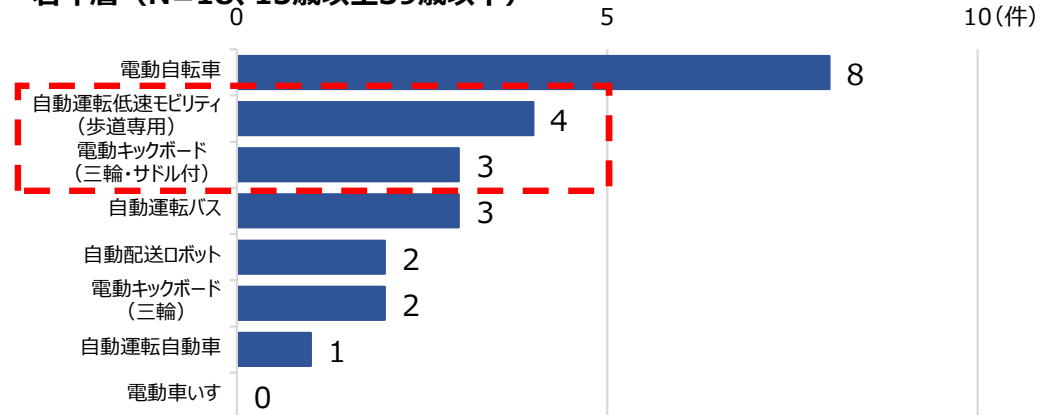
- 全体では「**電動自転車**」や「**自動運転バス**」を利用してみたいという意見が多い傾向にあった
- 若年層**では歩道専用の「**自動運転低速モビリティ**」や「**電動キックボード**」のニーズが中年層・高齢層と比較して高い

利用したいモビリティサービス（複数選択可）

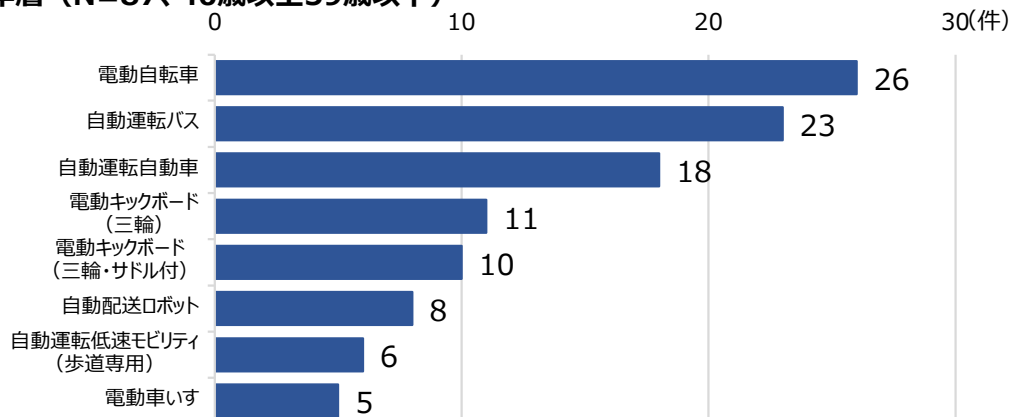
全体（N=200）



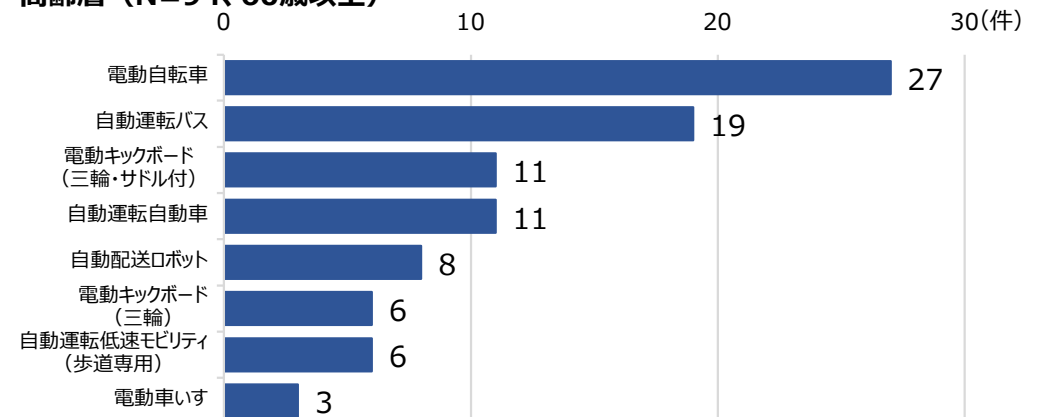
若年層（N=18、15歳以上39歳以下）



中年層（N=87、40歳以上59歳以下）



高齢層（N=94、60歳以上）



※各層の定義 若年層：年齢が15～39歳 中年層：年齢が40～59歳 高齢層：年齢が60歳以上

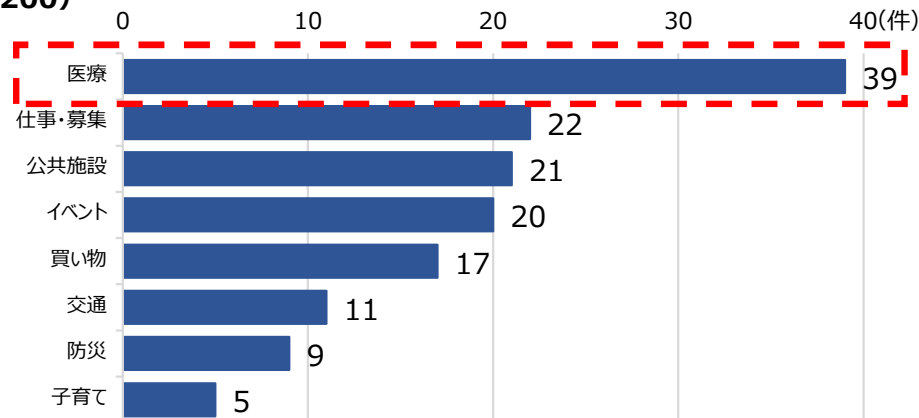
モニター全体として「医療」情報の収集に苦戦する傾向が見られた。若年層では「仕事」、中年層では「公共施設」情報の検索に苦労する等、年代によって違いが見られました

アプリ・SNSの使い方

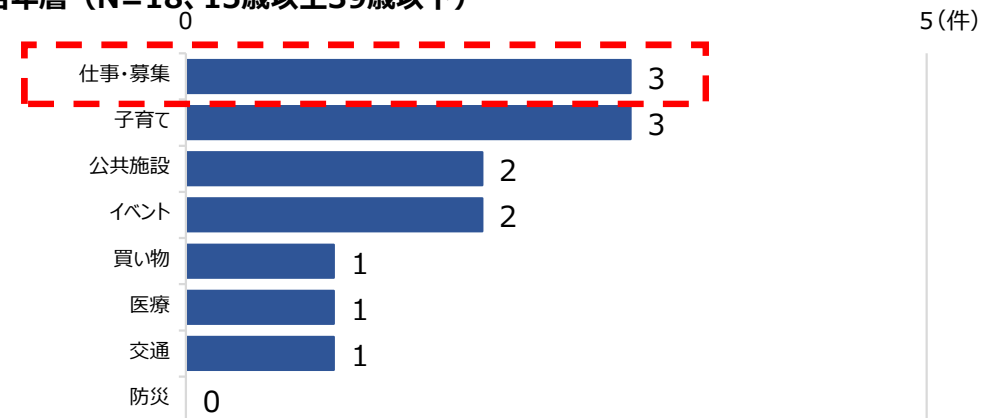
- 情報検索に苦労する地域情報として、「医療」が最多であった
- 若年層では「仕事・募集」や「子育て」、中年層では「公共施設」の情報収集に苦戦する等、年代によって傾向が異なっていた

「探すのに苦労した地域情報」のジャンル（複数選択可）

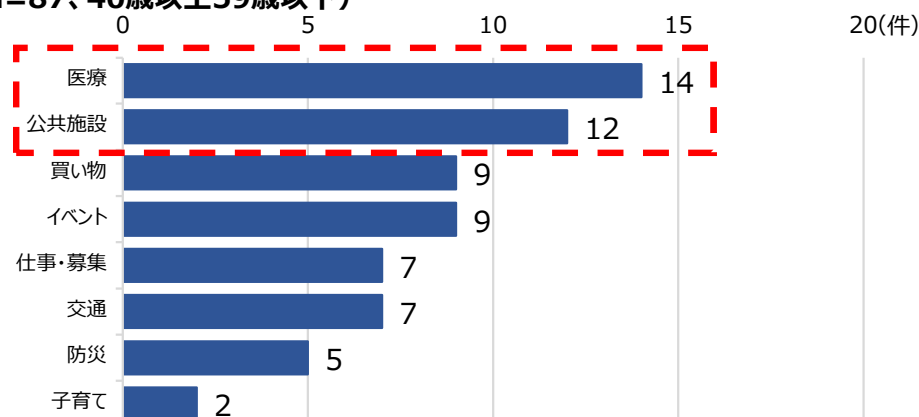
全体（N=200）



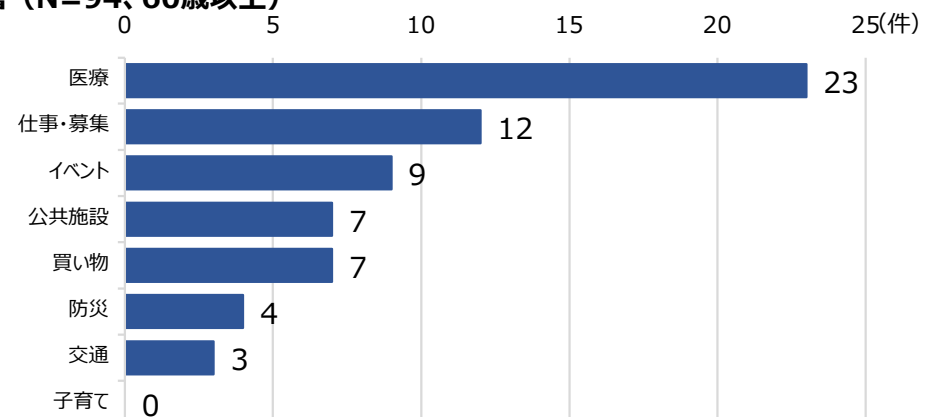
若年層（N=18、15歳以上39歳以下）



中年層（N=87、40歳以上59歳以下）



高齢層（N=94、60歳以上）



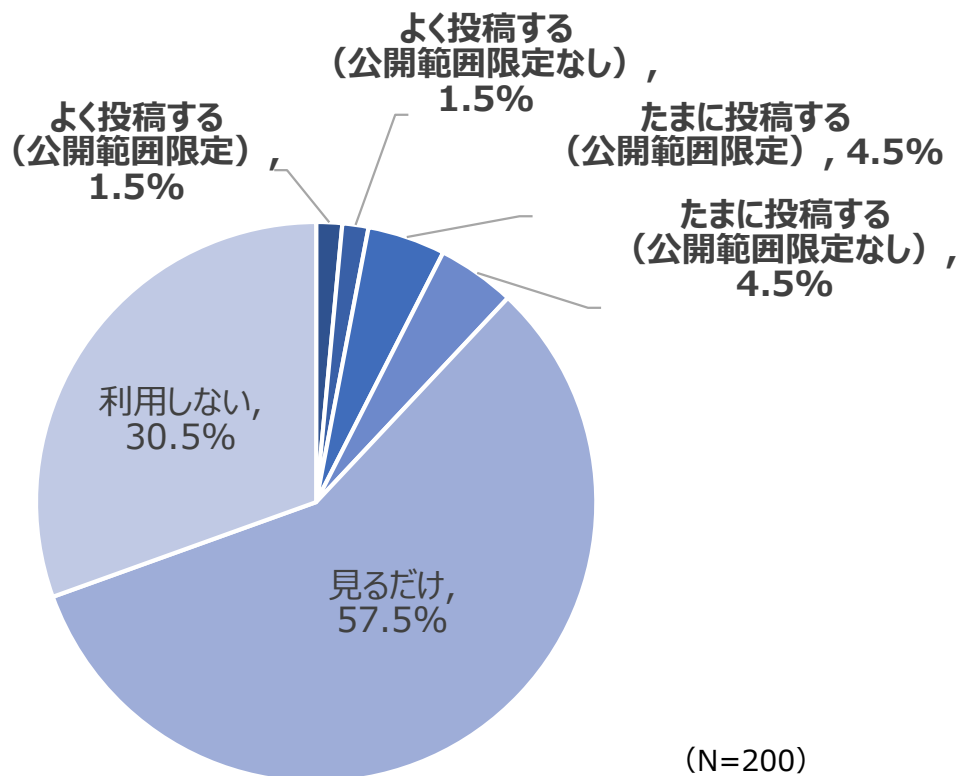
※各層の定義 若年層：年齢が15～39歳 中年層：年齢が40～59歳 高齢層：年齢が60歳以上

アプリやSNSの使い方に関して、約1割の方が投稿機能を普段から活用しており、投稿時には身元の特定や誤った情報の取り扱いを懸念する傾向が見られました

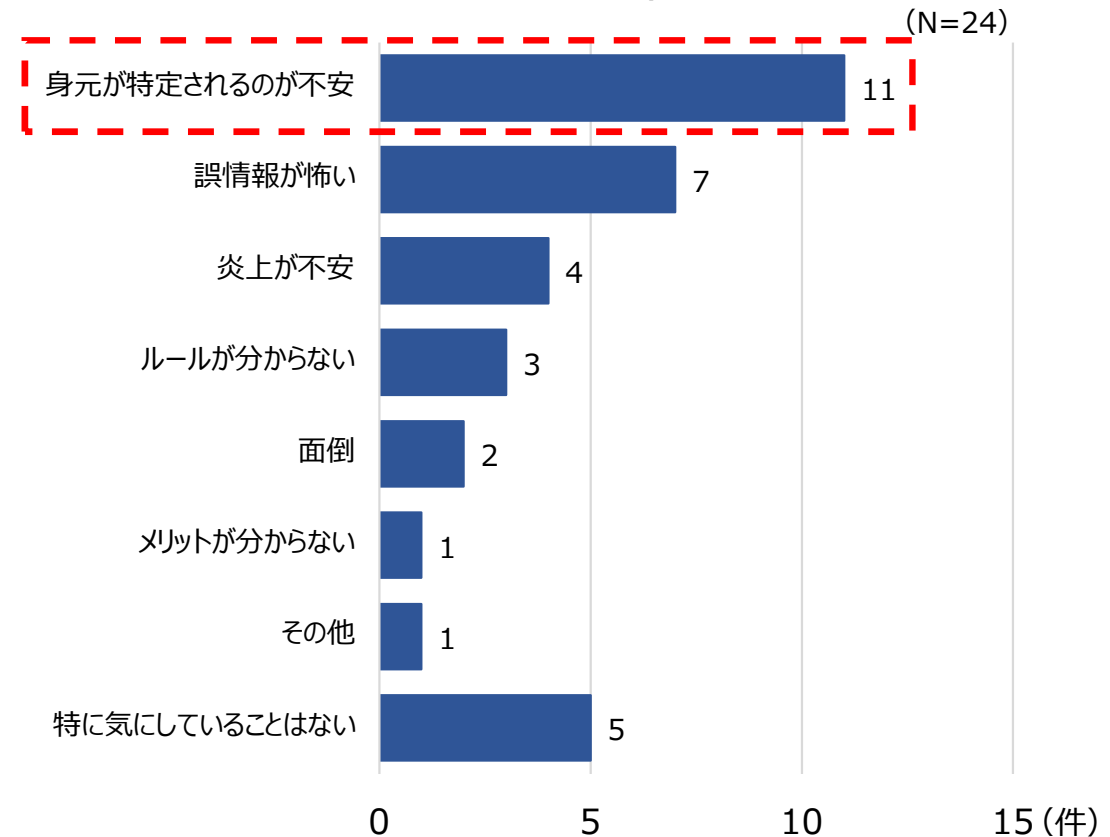
アプリ・SNSの使い方

- モニター全体の約6割が閲覧目的でアプリ・SNSを利用しており、約1割が投稿機能を活用している
- SNS投稿時は「身元が特定されるのが不安」という声が多く、個人を特定されない安全なSNS利用が求められている

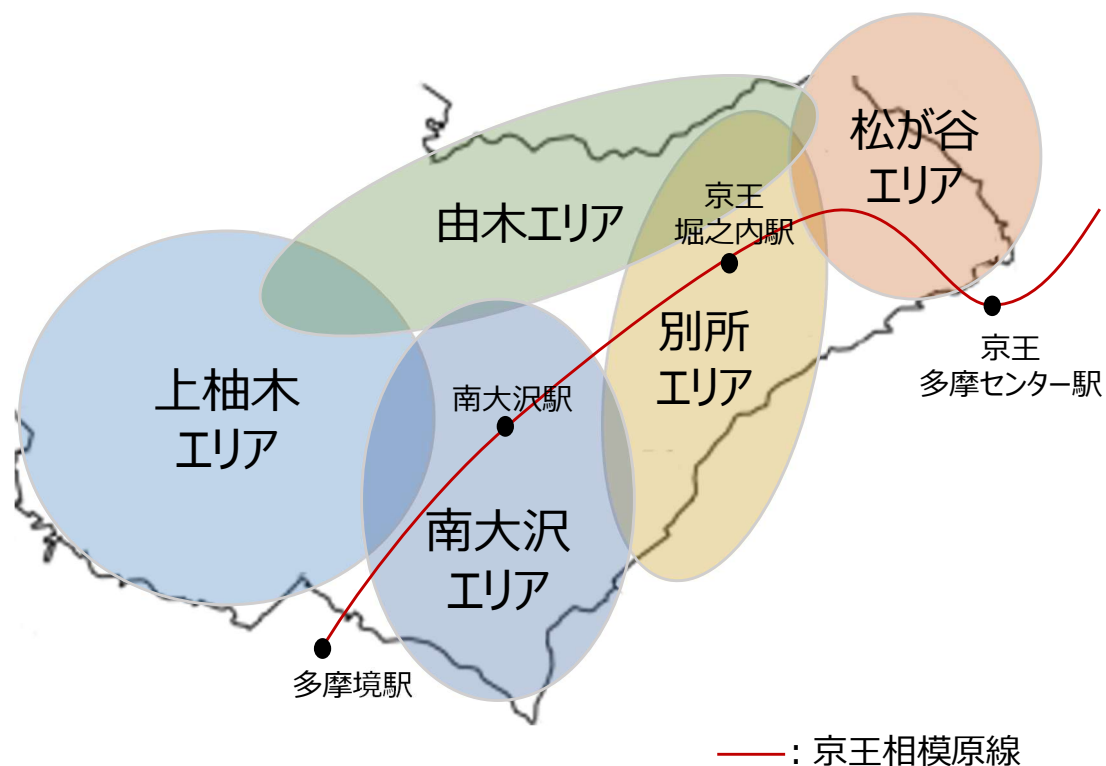
SNSの利用方法



SNS投稿する際に気にしていること
(複数選択可)



調査対象エリアマップ



各エリアの分類

— エリア —

— 該当地域 —

南大沢

- 南大沢

上柚木

- 鎌水
- 上柚木
- 中山
- 下柚木

別所

- 別所
- 松木
- 堀之内

由木

- 越野
- 南陽台
- 東中野

松が谷

- 鹿島
- 松が谷
- 大塚